

みずほCustomer Desk Report 2018/03/08 号 (As of 2018/03/07)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.64
TKY 9:00AM	105.57	1.2415	131.12	1.3903	0.7786
SYD-NY High	106.23	1.2447	131.74	1.3911	0.7830
SYD-NY Low	105.45	1.2385	130.95	1.3846	0.7772
NY 5:00 PM	106.10	1.2411	131.66	1.3906	0.7823
NY DOW	24,801.36	▲ 82.76	日本2年債	-0.1600	1.00bp
NASDAQ	7,396.65	24.64	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,726.80	▲ 1.32	米国2年債	2.2519	0.00bp
日経平均	21,252.72	▲ 165.04	米国5年債	2.6477	▲ 0.51bp
TOPIX	1,703.96	▲ 12.34	米国10年債	2.8799	▲ 0.55bp
シゴ日経先物	21,450	▲ 185.00	独10年債	0.6525	▲ 2.10bp
ロンドンFT	7,157.84	11.09	英10年債	1.4925	▲ 2.80bp
DAX	12,245.36	0.00	豪10年債	2.8040	▲ 0.10bp
ハンセン指数	30,196.92	▲ 313.81	USDJPY 1M Vol	8.64	0.06%
上海総合	3,271.67	▲ 17.97	USDJPY 3M Vol	8.78	0.13%
NY金	1,327.60	▲ 7.60	USDJPY 6M Vol	8.90	0.11%
WTI	61.15	▲ 1.45	USDJPY 1M 25RR	-1.35	Yen Call Over
CRB指数	194.44	▲ 2.32	EURJPY 3M Vol	8.93	0.10%
ドルインデックス	89.59	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	9.15	0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月7日	9:00	米 プレイナードFRB理事「緩やかな金利の引き上げ継続は適切とみられる」		
	19:00	欧 GDP(確報/前年比)	4Q 2.7%	2.7%
	22:00	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁「貿易問題は米国経済の下振れリスクになる」		
	22:15	米 ADP雇用統計(前月比)	2月 235k	200k
	22:30	米 貿易収支	1月 -\$56.6b	-\$55.0b
3月8日	4:00	米 ページブック「物価は全ての地区で上昇し、大半が緩やかに伸びた」		

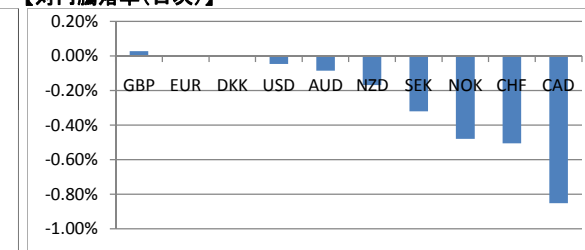
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月8日	8:50	日 経常収支	1月 ¥437.4B	¥797.2B
	8:50	日 GDP(確報/年率/前期比)	4Q 1.0%	0.5%
	21:45	欧 ECB理事会(主要政策金利/限界貸付金利/預金ファシリティ金利)	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	22:30	欧 ドラギECB総裁 記者会見	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 220k	210k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.60-106.60	1.2320-1.2470	130.50-132.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は上昇する展開。東京時間朝方にコーン米NEC委員長辞任との報道にドル円は急落する展開となり、その後も105円台半ばでの横這い推移が続いたが、米2月ADP雇用統計が市場予想比良好な内容となると週末金曜日の米2月雇用統計にも期待感が高まる格好に106円台前半まで堅調推移。結局東京時間朝方の下げ幅を回復し一日で見ると往って来いの展開となった。本日のドル円は一定のレンジ内での上値の重い展開を予想する。コーン氏辞任の一因とも言われているトランプ氏による一方的な関税導入貿易政策は本日署名予定。一部で柔軟な対応が示唆されるものの、貿易戦争に対する警戒感を引き続き意識されるところ。同懸念が存在している中では、ドル円が一段と上昇する展開は考えづらく、基本的には上値の重い展開が続くと予想する。また、本日はECB理事会を予定しており、フォワードガイダンスにおける緩和とバイアスの修正に注目したい。

東京	東京時間のドル/円は105円台後半を中心に上値重い推移が継続した。前日は朝鮮半島を巡る地政学リスクが後退したことから106円台前半を回復していたが、朝方はコーン米国家経済会議委員長辞任のヘッドラインに下値105.45まで円高が進行する場面が見られた。東京時間は105.57レベルにてオープン。円買い一巡後はドル/円は反発するも106円台手前では上値の重さが目立ち105円台後半でのレンジ取引が継続した。105.65レベルにてロンドンへ渡った。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は貿易戦争懸念からリスク回避意欲が強まり円買いが優勢となった。105.65レベルでオープン。自由貿易主義者で知られるコーンNEC委員長の辞任を受け貿易摩擦不安が強まりリスクオフから105.51まで円が買われ、105.73レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは軟調推移した。1.3892レベルでオープン。ブレグジットを控えた英国民の不安やポンド安による英インフル率の上昇に家計の収入が圧迫され12-2月の英住宅価格は前年比+1.8%と低い伸びとなったことやトラスEU大統領の英国の離脱交渉姿勢への非難からポンドは1.3846まで下落し、1.3873レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は105.73レベルでオープン。朝方は米2月ADP雇用統計が予想を上回ったことから、金曜の米2月雇用統計に対する期待も強まり105.99まで上昇するも、続いて発表された米1月貿易収支において赤字が予想以上に拡大したことからドル売りが優勢となり105.80まで反落。その後全般的なドル買い地合の中、106.23まで上昇。午後はヘー・ジョフックで雇用市場のタリ化で緩やかなインフレを想定していることが明らかになったものの、ドル円の反応は薄く、狭いレンジでの推移が続く。106.10レベルでクロスした。一方、比較的狭いレンジでの推移が続いたユーロドルは、1.2419レベルでNYオープン。朝方は海外時間同様狭いレンジでの推移が続くが、輸入制限発動を間近に控え、貿易戦争になるとの思惑からドル買いが強まり、ユーロドルは1.2385まで下落する。午後に入り1.2414まで戻す局面もあったものの、終盤に掛けては明日のECB理事会を控え様子見となり、1.2411レベルでクロスした。米大統領報道官からは輸入制限発動の署名は今週末との発言が伝わり、一部報道では8日ともされる中、EUやカナダから対抗措置を講じる構えが示された。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・坂本